

一般質問

12月定例会



小野 覚 議員

Q 今後の転作への考え方は

コメ(米)政策を大きく転換し、主食用から飼料用米などへの生産転換を農家に促す転作補助金を拡充するとしているが、それらを含めて本町の来年度の転作についての考えは。

A 加工用米、飼料用米への対応を検討

町長 山崎英樹
平成26年産配分は、飯南町では昨年に比べて18ヘクタール減少し、面積換算で686ヘクタールで米を作ることになる。平成26年産米の作付け方針は、本町の農業再生協議会で検討したい。
大豆40ヘクタール、ソバ30ヘクタールは確保し、ホールクロップサイレージの拡大と、加工用米および飼料用米への対応を検討する。

Q 農村への影響は

「日本型直接支払制度」を平成26年度に創設し、農地維持支払と資源向上支払の2種類の交付金で農地を守り、農村の環境保全を進めるとしているが、現行の農地・水保全管理交付金事業との関連を含み、この影響をどのように考えるか。

A スムーズに移行したい

町長 山崎英樹
現行の農地・水保全管理交付金交付金のうちの共同活動を、「農地維持支払」「資源向上支払」に分割するというところで、交付額は2つ合わせると単価は増額になるが、現在の取り組みが制限される可能性がある。
この新たな制度にスムーズに移行できるよう、関係機関に対して活動の円滑化、事務負担の軽減等を要望していく。

Q 子育て支援対策 具体的施策は

町長は平成25年1月の町長選において、3期目の町政を担うにあたり、「雇用を増やす」「子供を増やす」「安心な暮らしを守る」の3つの目標を掲げたが、子育て支援対策について、平成26年度の具体的施策は。

A プロジェクト チームを設置

町長 山崎英樹
役場の若手職員を中心に「プロジェクト飯南推進チーム」

を設置し、総合的な子育て支援対策、定住対策を推進するため議論している。
① 子供医療費の更なる軽減や対象年齢の拡大
② 各種検診や健康相談の拡充
③ 保育サービスの充実と保育料の引き下げ
④ 子育て支援センター、育児サークルや放課後児童クラブなど、子育て支援組織の拡充などが対象になる。
さらに子育て世代の声を取りまとめ、平成26年度からの子育て支援対策の組み立てや、予算措置に生かして、一歩前進したと思えるような施策を進める。



一般質問

12月定例会



内藤 眞一 議員

Q 頓原基幹支所設置 住民の声を聞け

A 結論は急がない

町長は平成25年9月定例会時に、頓原基幹支所の位置について「丁寧に説明をする」と回答したが、どのような方法で行ったのか。
町長は平成25年9月定例会時に、頓原基幹支所の位置について「丁寧に説明をする」と回答したが、どのような方法で行ったのか。

説明会とアンケート

町長 山崎英樹
説明会は定例会終了後から関係自治区長と連絡をとり、10月21日から28日までの間、8会場で行い、129名の出席があった。
当日は町の考え方を説明し、意見を伺い、アンケートをお願いした。
また、保育所・小・中学校保護者、老人クラブ、婦人会など団体のヒアリングや、頓原地区住みよい地域創造会議にも、説明している。

開催時期が急ではなかったのか

10月18日の自治区長会で案内文書等が配布されたが、10

月21日から説明会が始まっている。
案内文書を全戸に回覧することは困難であり、説明会を知らない住民もあったと思う。また、「本町の医療について考える住民との懇談会」と同日に設定した集落があったが、なぜ短期間に急いで開催したのか疑問で、農閑期にゆっくると意見交換する機会をつくるべきではなかったか。

日程調整を行ったが

町長 山崎英樹
日程調整については、対象者の都合のよい日時に設定することを基本と考える。
事前に担当者で自治区長の間で日程調整を行った上で開催したが、このような事柄が発生し、申しわけなく思う。
このことは急いで結論を導こうとは思っていない。さらに検討を加え、引き続き意見交換を重ねていきたいと考えている。

日程に無理があった

総務課長 和久利 久
今回の説明会日程等に無理があったことをおわびする。
各会場での意見やアンケート結果の報告を、住民説明す

る約束をしているので、今後日程調整を行い報告する。

志々地区の説明会は

頓原基幹支所は、単に頓原地区だけの支所ではなく、志々支所も含む地域センターの役割を担うもので、志々地区の意見も聞くべきだ。

過半数の賛成が必要

アンケートの中間報告では回答率が低い、住民の過半数の賛成が得られない限り、安易に建設することがないよう、また少数意見にも配慮すべきだ。

文書回覧で周知

町長 山崎英樹
10月18日、志々地区の区長自治会長に説明会を開催し、地域住民への説明などの進め方について相談した。

その結果この計画案について理解する。各集落での説明会までは必要なく、文書回覧で周知することになった。

検討を加える

アンケートや少数意見にも検討を加えながら整理し、次の説明意見交換を行っていく。

